



校報

# 水糸者

No. 1288

元年度・第147号

## 冬季大会でも力を出し切った種小っ子

25日の冬季水泳大会では、種小っ子たちの躍動する姿をたくさん目にすることができました。はまなす学級1組の南 翔斗さんは1月21日発行の校報1284号でも紹介したとおり、今年の大大会では25m背泳ぎに出場しました。

パート2



翔斗さんの普段の頑張りや、この大会にかける意気込みを聞きつけた2年生の時と3年生の時の担任も遠路はるばるかけつけ、翔斗さんを励ましてくれました。



### 翔斗さんの「25m」で教えられた事

普段車いすで学校生活を送っている4年生の南 翔斗さんは、今年度の大会も出場しました。翔斗さんは、全学年が行ってきた温水プールでの水泳学習が終わった後の2学期も、29年度から週に1～2度、機能訓練の一環として温水プールでの水泳を続けてきました。その事で、プールが大好きになり、昨年度から「町冬季水泳大会」に出場し25mを完泳しました。今年度は「背泳ぎ」で出場したいという目標をたてて温水プールでの機能訓練に励んできました。昨年度までの「背浮き」とは格段に難易度が向上する「背泳ぎ」は、水中でのバランスと推進力を保つのが大変難しい泳法ですが、持ち前の明るさと強い心で日々ぐんぐんと上達していき、温水プールでの機能訓練が始まった頃は、水面に浮くことだけでも高いハードルであり、初めて25mを泳ぎ切った時のタイムは約3分かかりましたが、今大会では1分12秒4という素晴らしい記録でゴールしました。



力泳する翔斗さん

25m先のゴールを目指し最後まで頑張る翔斗さんの姿に、会場は割れんばかりの温かい大声援でした。私は、始業式や全校朝会などで「諦めないでやり遂げる大切さ」や「好きなことをとことんやる大切さ」、「苦手なこともごまかさないでやり遂げる大切さ」などについては、繰り返し話してきました。今回の翔斗さんの姿は、その事を全て体現しているものでした。

翔斗さんの今回の25mは、『始めないと、踏み出さないと何も成長がない事』や『目標を持ち続けないと成長がない事』、『限界は自分が勝手に決めている事』など、より良く生きていくために必要な、かけがえのない大きなことを教え、気づかせてくれた25mでした。



翔斗さんのがんばりは、周囲の人たちを笑顔にしてくれます。

## 〔全校朝会での校長講話 「カッコよい姿とは…」〕

水泳大会に出場した皆さん、冬休み中を含めて今までの努力の成果をしっかりと発揮できてよかったです。

最後までしっかりと泳ぎ切る姿に感動しました。

優勝した人や大会新記録を出した人、入賞した人、おめでとうございます。

たくさんのメダルや賞状をもらえたのはどうしてでしょうか？それは、水泳を「始めた」からです。そして、今まで「続けた」からです。メンバーの中に、金メダルがとれなくて笑顔が少ない子がいました。でも、その子は何年も続けて大会に出ています。それはとってもカッコ良い姿です。そのような頑張り続ける子がいる種市小学校はますます良い学校になって行きます。

今回、水泳大会に出場した選手の皆さんから、興味や関心をもって「始める」ことと、「続ける」大切さ、「くじけない心」を教えてもらいました。

「優勝したから、これからもがんばる」という、種小っ子はカッコよい種小っ子です。

「優勝も入賞もできなかったが、またがんばる」という種小っ子もカッコよい種小っ子です。校長先生は、そんな種小っ子が大好きです。



「カッコよい姿」とは、優勝する姿だけではありません。目標や夢に向かい、失敗してもくじけずに何度でも挑戦し続ける姿も「カッコよい」姿です。今回の大会で金メダルがとれなかった種小っ子を知っています。校長先生はその子たちをずっと応援しています。

これからも、好きなことをとことんやる種小っ子、あきらめないで続ける種小っ子でいてください。

## 第30回久慈地区児童生徒科学研究発表会



25日（土）に、第30回久慈地区児童生徒科学研究発表会が久慈小学校で開催され、本校の岩崎 啓さん（3年生）が冬休み中に取組んだ研究を発表してきました。啓さんは「輪ゴムはどこまで伸びるか」について、疑問に思った事をまとめ発表してきました。

不思議だと感じた事や疑問に感じた事をそのままにしないで、進んで探究し、それを調べてまとめた事を発表（発信）していく事は、これからの時代を生き抜いていくために、求められる資質や能力を養っていく事につながっていきます。

月曜日、悪い姿勢で学習をしている子が目立ってきています。その子たちに話を聞くと、土・日にゲームのやり過ぎで寝不足のまま登校してきた子が多いようです。

悪い姿勢のまま学習を続けると学習内容が身に付かないだけでなく、「視力低下」や「脊柱側弯」にもつながっていきます。土・日の健全な過ごし方について、ご家庭で再度ご確認ください。

